



# 学会ニュース

---

NO.7

# 上島先生へのインタビュー

---

この度、本学の教育、研究に多大な貢献をされ、ご尽力くださいました甲南大学経済学部経済学科の上島康弘教授が、2024年3月31日をもってご退職されました。

今回、ご退職にあたり、上島康弘教授へインタビューさせていただきました。

PRONTOにてお話し  
させていただいた際  
のお写真です！



# インタビュー

---

**Q.1** 先生の専門分野・研究テーマを教えてください。

**A.1** 労働経済学、AIの導入や人口減少などの経済環境の変化によって賃金格差や雇用システムがどう変わるかを考える分野です。

日本の正規雇用は、学卒者が一括採用されて会社内を異動しながらスキルを見つけるしくみでした(メンバーシップ型)。これからは、一人ひとりの職務が文書で限定されて採用される欧米の仕組み(ジョブ型)に近づくのでしょうか。

そのとき、新卒一括採用はなくなり中途採用が一般的になって、大学ではもっと職業教育が重視されるでしょう。

**Q.2** 大学教員になったきっかけを教えてください。

**A.2** 数学、統計学、経済学の先生が学問の世界を案内してくれて、その風物に魅了されたから、デキントの切断、ノンパラメトリクス、ソローの成長モデルなどのアイディアには本当に驚きました。3年生になる前に1年休学して、図書館で本や論文を読みました。

# インタビュー

---

Q.3 教員生活の中で苦勞したことはありましたか。

A.3 ありません。

Q.4 教員生活の中で、一番印象に残っていることは何ですか。

A.4 一番記憶に残っていることは、阪神大震災でゼミ生が亡くなったです。地震の数日後に西宮北口駅から徒歩で潮見町の小学校へ行き、棺に入ったゼミ生に会いました。

Q.5 教員として働くうえで、一番大切にしていたことは何ですか。

A.5 大人同士として(「愛」や「指導」ではなく親切で)学生に接することです。コロナ禍のずっと前から“social distance”を心がけました。

その他にも授業で話すことが3つの“i” - intelligible, interesting, instructiveであることや、練習問題の「答」を伝えても「解き方」は教えないことなどを意識しましたが、全くの力不足でした。

# インタビュー

---

Q.6

大学教員になってよかったことは何ですか。

A.6

教えることも、研究することも、自分から頑張ろうと思える仕事だったことです。

『Alice's Adventures in Wonderland』の一つの訳本にこんなシーンがあります。

アリス:「チェシャ猫さん、私はどっちの道に行ったらいいの？」

チェシャ猫:「それはどこに行きたいかによる」

アリス:「それが分からないの」

チェシャ猫:「だったら好きなほうに行けばいい！」

人生の目的を考えることもなく好き嫌いで職業を選択して、好きな人といっしょに好きなことをしていたら、この世はいいところだと感じるようになりました。

# インタビュー

---

**Q.7** 退職された後、してみたいことはありますか。

- A.7**
- ①最新の経済学の論文を読んで信頼する仲間と議論すること(すでに実行中)
  - ②海外の大学で語学と経済学を勉強しながら卓球クラブでプレーすること(シドニーで味をしめた)
  - ③スマホ, SNS, メールを使わない生活すること(スマホは未経験)
  - ④大型バイクでツーリングして美しい自然を目の当たりにすること(まず免許の取得から)
  - ⑤週末に映画, 演劇, コンサート, 文楽を観に行くこと(今までたのしむ時間がなかった)
  - ⑥世界各地をクルーズ船で旅すること(北欧と南米の辺境に行きたい)
  - ⑦好きな作家の家や小説の舞台を歩きたい(ブロンテ姉妹, ペテルブルグ, イースト・エッグなど)

# インタビュー

---

**Q.8** 大学生の間に学んでいて役に立つことは何ですか。

**A.8** 自分自身の物差し（規範と価値観）をもつこと。親の期待や他人の評価、SNSでの見せびらかしに振り回されないために。人と社会との接点を増やして手本になる人を見つけて、さまざまな問題について議論してください。余談になりますが、最近、『菜根譚（さいこんたん）』という本を読んで、その内容が平生鈇三郎さんの物差しに似ていると思いました。

# インタビュー

---

Q.9 学生へメッセージをお願いします。

A.9 明るく礼儀正しい学生に恵まれて、ずっとやりがいを感じて働くことができました。

特に、ゼミ生など身近に接した学生たちとの楽しい時間を過ごしました。一人ひとりの表情としぐさを覚えています。本当にありがとうございました。

自立していきっていくことは大変でしょうが、自己中心、成績第一、勝利至上主義、外見重視、タイパ優先という初期設定を変更して、正直な気持ち、規律と責任、勤勉と努力、家族と友人、思いやりと感謝を大切にして欲張らないで穏やかに生きた方が不安という苛立ちから解放されて、日常生活が有意義で楽しい時間になると思います。

人生は天からのgift。自分のために大切に使ってください。

# 編集後記



上島先生、この度はお忙しい中退職インタビューにご協力いただき、誠にありがとうございました。

先生とのお話の中で特に印象に残っているのが、「自分の直感を大切にすること」です。自分の一度きりの人生、自分がいいと思う方へ進む方が人生が豊かになるとお話ししていただきました。これから先、様々な決断を迫られる場面に遭遇するかと思いますが、そのときは直感を信じて、自分の心が惹かれる方に進んでいきたいと思います。

改めまして、長年にわたり甲南大学経済学部にご尽力くださり、誠にありがとうございました。今後の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

学会ニュースを最後までお読みくださり、ありがとうございました。

[編集担当] 赤瀬 智佳